

発言者	発言内容 (開会 午後1時30分)
課長	野田委員、大藪委員が欠席となっております。
委員長	開会あいさつ
事務局	<p>議題に入る前に、前回会議でお配りした策定スケジュール(案)で今年度は6回のサービス調整会議を予定しておりましたが、6月の2回目と7月の3回目を合同という形で進めさせていただきますのでよろしくお願いしたい。</p> <p>大口町第7期介護保険事業計画・高齢者保険福祉計画について</p> <p>議題(1)大口町の高齢者の現状について</p> <p>資料 No.1 に基づき説明</p> <p>補足として、平成28年10月1日現在、高齢者は5,240人、人口が23,640人、高齢化率としては22.2%となっている。</p> <p>11ページの数値は平成22年のデータで古いので、追加資料として平成25年の平均寿命・健康寿命を示させていただきました。</p>
委員長	平成27年では5,377人となっているが減ったのか。
事務局	国勢調査の調査時期と平成28年10月1日の調査時期によるものと思う。外国人も含むが結果として減っている。
委員長	本来、入所することによって介護度を重くしない方がいいんでしょうけど、どうしても入ってしまうと良くなるより、重くなることの方が多いですよ。
町内高齢者施設代表	特養は介護度3以上というところで、どうしても重度化して入所する方が多い。本来であれば特養も自宅へ戻すというのが本来の介護保険の目的ではあるが、国の方針もあって、在宅というよりはそこで最期、終の棲家ではないが、家族の想いも自宅よりも最期までという希望がある。
事務局	<p>議題(2)大口町高齢者ほほえみ計画骨子【案】について</p> <p>I 計画の策定にあたって</p> <p>II 計画の基本的な枠組み</p> <p>資料 No.2 に基づき説明</p>
委員長	事務局からの説明は以上だが、なにか質問や意見はないか。
民生委員協議会代表	高齢者の貧困、体調管理の問題がある。これからも見守りを続けていく。
健康推進員連絡会代表	私が住んでいる地域は昔から住んでいる人ばかりではないので、まとまりがない。参加する人は決まってしまうので、たくさんの方が参加してもらえよう今年度から変わった切り口で運動をやっていこうかなと考えている。
老人クラブ連合会代表	いつまでも元気でいられるように、各団体に町の事業に参加しようと声をかけている。老人クラブの旅行では参加者にカメラを持ってきてもらい記録を残してもらっ

	<p>たり、健康を保つ一つの方法として、旅行先で川柳を詠ってもらっている。</p> <p>また、最近では老人クラブの中で高齢者の自動車の運転が問題になってきている。</p>
高 齢 者 福 祉 協 力 員 代 表	<p>高齢者福祉協力員は、介護の1から5までの在宅でお世話している方を15名で見守りをしている。自分も祖母と母を介護したが、いまのようなシステムではなかったが、社会全体がいろいろ変わってきている。先ほどの川柳は脳の活性化に素晴らしいアイデアだと思う。高齢者の健康寿命ということで、豊田のいきいき百歳体操に30名ほどが重りをつけて楽しんで活動している。</p>
介 護 サ ー ビ ス 利 用 介 護 者 代 表	<p>財源のあるところでやっていく事業であり、佐野委員長のいうとおり、みんなの意見を聞いていくのは大変難しいが、サービスを誰が一番必要なのかという最初のところをきちんとしないと、財源が膨らんでいき、本当に必要な方が漏れていないかということを感じている。</p>
部 長	<p>本日は、第7期の計画策定に向けて、基本理念、計画の骨子について決めさせていただいた。国の方も第7期の計画に向けて基本方針を出され、具体的に下りてくると思う。高齢者を取り巻く状況というのは、大口町の現状を説明しましたが、介護認定を受けている方の3割が老々介護という現状も全国的にあるそうです。</p> <p>本町の高齢化率も近隣に比べると低いですが、資料のなかにあるように大口町の特徴として今後10年、団塊の世代が75歳を迎える2025年には近隣と比べてかなり進んでいくということを見ると、悠長な状況ではない。</p> <p>今回の計画も第6期に続いてポイントとなるのは地域包括ケアシステムの構築をいかにしていくのかが根底にあるのかなと思っている。一方で認知症施策も今後の計画の中でポイントの一つかなと思っている。国は認知症サポーターの数を2020年度、第7期の最終期までに10人に1人にしていこうという目標を掲げている。そういったことを考えながら、みなさんのご意見をいただいきたいと思っている。また、サービス料の推計もこの計画の一つのポイントとして、次の3年間の介護保険料を決めていく必要がある。大口町は第6期では基準額が月額3750円と愛知県で一番低く、全国でも12番目となっているが、いつまでも続くものではない。10年後には近隣市町より高齢化率が上がるので視野に入れていかなければならない。国は次の計画では平均で1000円くらい上がると見込んでいるが、大口町は介護認定率が低いので、いますぐにというわけではないが、委員のみなさまには今後の会議のなかで大口町、国の現状を視野に入れながら、ご意見をいただきたいと思っている。</p>
介 護 サ ー ビ ス 利 用 介 護 者 代 表	<p>私の母もだが良くしてもらっているが、自分たちが年を取ったときにどうなるんだろうと不安である。</p> <p>資料で大口町の新しい平均寿命と健康寿命のデータを出してほしい。</p>
課 長	<p>データについてはできるだけ近々のもので、またタイプは違うかもしれないが大</p>

	口町の現状が分かるように工夫をしていきたい。今日の資料は国勢調査のデータで古いものだが、出典は違うかもしれないが、なるべく近々のデータを並列するような形で計画を策定していきたいと考えている。
大口町介護支援 専門員連絡会議 代 表	<p>実態調査のアンケートがどう生かされているのか、制度、施策がどう変わっていったのか、取り組んだものがどう変わっていったのかが分かるとアンケートが生きてくと思う。</p> <p>介護度が下がると受けられるサービスのレベルが下がるので、家族や本人から残念という声を聞く。介護度が下がる時に理解が得られない。介護度が下がるということはできなかったことが、自立に向けできようになっている。調査を受けるときに利用者にも意識を変えるような話をしていけないと思っている。</p>
尾北医師会代表	老老介護とか、高齢者の貧困とか孤独死が社会問題になっていて、今日の基本方針のなかでは、介護、医療、予防、福祉や住環境など横の連携が地域包括ケアでは重要であり期待している。
尾北歯科医師会 代 表	財源の問題に尽きると思うが、いかに行き届いたサービスを行うかということ、みなさんに考えてもらい、元気な老人のマンパワーを活かしながら助け合いができるといいかなど。歯科医師会としては地域包括ケアシステムを進めていき、訪問医療のシステムも出来上がっているので周知していただければと思う。
町内高齢者施設 代 表	介護人材育成確保というところで、施設を運営する立場では人の確保は難しくなっている。愛知県では介護求人倍率が4となっており、人が足りない状況である。介護は、ひと対ひとであるので、町の人材確保の取り組みがあるとありがたい。
愛知県江南 保 健 所	地域共生社会の取り組みに向けても、大口町は他の市町と比べても頑張っていると思う。この方向性で引き続き頑張っていただければと思う。
学 識 経 験 者	民間でできることが、社会福祉法人ではできないことがある。定員以上の人は入れていけないとか、ショートステイでかぶってはいけない、部屋は空いているのに使えないという状況、そういうのを外せば、いまある資源でより多くの人々がショートを受けれて、例えば特養にも入れる。法の規制でできないと言われることが多いが、事業者の健全な事業展開を応援するというならば、前向きに検討していただきたい。
委 員 長	閉会挨拶 (閉会 午後 3 時 08 分)
課 長	その他として、次回の会議開催を9月29日(金)に予定させていただきたい。